

第一礼拝次第

メッセージ: 郭永東牧師

ブレイズリード: 郭永東牧師



前奏
頌栄
主の祈り

540

会衆
会衆

ブレイズ

「輝かせよ」

「素晴らしい主を」

会衆

聖書朗読

士師記 17: 1~13

司会

(旧約聖書 p411)

祈禱

司会

賛美

194

会衆

メッセージ「自分の目に正しいとする」

牧師

祈禱

牧師

賛美

355

会衆

献金

報告

司会

頌栄

新生 672b

会衆

祝禱

牧師



第二礼拝次第

メッセージ: 渡真利彦文牧師

奏楽: 郭永東牧師

メッセージ: 「ヤコブとヨハネの願い」

聖書: マタイ 20: 20~28(新約聖書 p.39)

ブレイズ: 「輝かせよ」

「素晴らしい主を」

賛美: 新生 467 新生 523



ファミリー礼拝

聖書: 使徒 9: 1~9

メッセージ: 「サウロの回心」

<巻頭言>

「神の絶え間ない救いの御心」

郭永東牧師

士師記を通して、私たちはイスラエルの民が神から離れて罪に陥り、その結果として苦しみを味わう姿を見ることができます。その中で、人間の弱さと、神の絶え間ない救いの御心を学ぶことができます。また、指導者が不在となり混乱する中でも、神の誠実さと救いの御業は絶えず続いていることを知ることができます。士師記全体を通して聖書が伝えようとしていることは次の通りです。

1. 人間の罪深さと弱さ

士師記は、イスラエルの民が神との契約を破り、偶像礼拝や罪深い行いに陥る姿を描いています。これは人間の弱さと罪の本性を明らかにすると同時に、罪の結果がどれほど悲惨であるかを示しています。

2. 神の絶え間ない救いの御心

イスラエルの民が罪に陥り苦しむたびに、神は士師たちを遣わして救われました。これは神がご自身の民を決して見捨てず、絶えず救おうとされる誠実な愛を示しています。

3. 指導者の重要性

士師時代は、リーダーシップの不在によって混乱と無秩序が蔓延した時代でした。ここから、良い指導者の重要性を学ぶと共に、神が立てられた指導者の役割を尊重することの大切さを教えられます。

4. 神の主権

士師記は、イスラエルの民が神の御心に従わない時に苦しみ、悔い改めて神に立ち返る時に救われるという事実を描いています。これは、神こそが私たちの人生を最もよくご存じで、導かれるお方であることを気付かせてくれます。

5. 未来への予表

士師記に登場する士師たちの役割は、やがて来られるメシア、すなわちイエス・キリストの予表でもあります。不完全で一時的な士師たちを通してイスラエルを救われたように、永遠にして完全なお方であるイエスによって、私たちは罪と死から完全に救われることを示しています。